

南橘地区 敬老会

10月5日は南橘公民館に荒牧町に住む75歳以上の方々を招待し約160人の出席をいただき、盛大に敬老会が実施されました。



女性防火クラブの仮装のカップ

この会では、自治会役員をはじめ民生児童委員、女性防火クラブの方々が運営に携わるとともに、南橘保育所、荒牧町の趣味サークル、寿楽園などの皆さんが、ステージで素晴らしい発表を披露しました。

参加者からは、「じょうずだねえ〜」とか「おもしろい！」などの声が聞かれ、笑顔と拍手あふれる時間を楽しむことができたようです。

最後は、女性防火クラブの皆さんがカップなどに変装し、「遠野まぬけ節」で面白おかしく踊り、楽しいステージを締めくくって頂きました。



ぜひ見に来てください！

荒牧町文化発表会

～11月10日(土) 荒牧町公民館～

★ステージ発表 9時半～12時半

発表の紹介(一部)

- ・民謡踊り、ダンス、カラオケ
- ・アコーディオン、ハーモニカ演奏
- ・子どもによるピアノ演奏
- ・落語、日本舞踊
- ・寿楽園の皆さんの発表(予定) など



★作品展示発表 9時半～15時まで

発表の紹介(一部)

- ・育成会の子どもの絵画、書の作品
- ・書道愛好会、パソコン愛好会の作品
- ・多くの方々による、手芸、工芸、彫刻、書、俳句、短歌、絵画、写真
- ・寿楽園の皆さんの作品(予定) など

荒牧町だより

第196号
荒牧町自治会
広報委員会

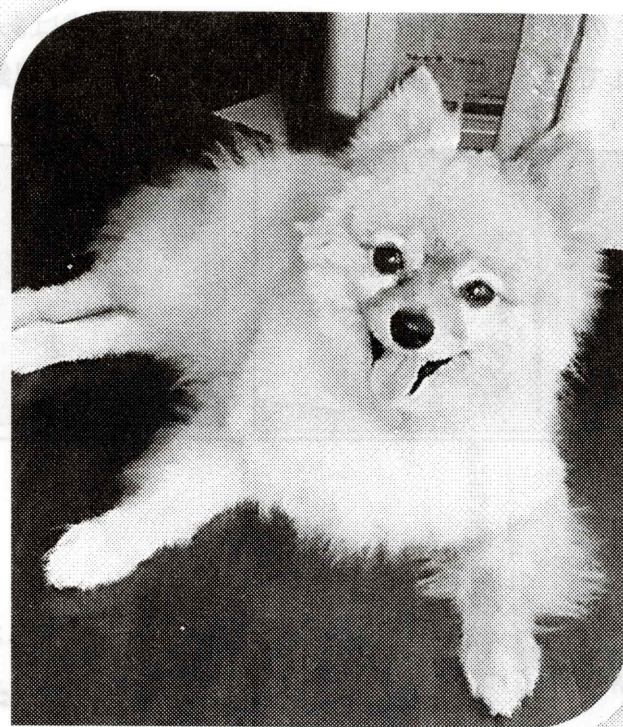


日頃の努力の成果が
いっぱいだよん!

わが家の『かわいいワン』

- なまえ チャッピー
- 紹介 ポメラリアン
11歳 女の子
- 住まい 熊谷さんの家
- ひとこと 小さな番犬です

No. 8



★ワンちゃんの写真デビューをしませんか!

ただいま「ワンちゃんの写真」を募集しています。写真1枚とコメントを添えて、公民館のポストに入れて下さい。お待ちしております。

第5回荒牧町長寿会 グラウンドゴルフ大会

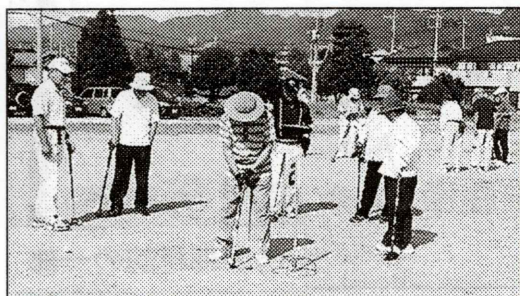
9月17日(月)敬老の日、お天気に恵まれて、56名の参加で盛大に実施されました。8チームに分かれての団体戦で、行われ、個人成績の上位者は、このあと11月に実施される、南橘地区老人クラブ連合会の大会に、荒牧町の代表選手として選抜されました。

個人成績上位入賞者は次のとおりでした。11月5日(月)に実施される、南老連のグラウンドゴルフ大会に、選手として出場していただきます。

1位から順に、女性6名、男性12名です。

女性・ ①家高洋子、②和南城すま子、③金子ミドリ、
④板井妙子、⑤平方高子、⑥鶴川和子

男性・ ①角田泰久、②小林大策、③真下貞男、④小泉勲
⑤別所郁雄、⑥萩原正和、⑦木暮正男、⑧栗原弘
⑨中村武夫、⑩柄澤利夫、⑪真下元治、⑫柳澤三千男



優勝チームです

台風のため中止にソフトボール大会

9月30日(日)に予定されていたソフトボール大会は、台風接近のため中止になりました。今年度は実施時期を春から秋に移し、スポーツの秋を楽しむところでしたので残念です。

実施にあたって、諸準備をしていただいた体協や地区の役員の皆様、また、大会に備えて練習等をしていただいた選手の皆様、いろいろとありがとうございました。

自治会掲示板

◇南橋地区運動会 10月21日(日) 南橋中学校
選手も応援も共にごがんばりましょう!

◇高齢者福祉親善グランドゴルフ大会
10月27日(土) 荒牧中央公園

◇荒牧町文化発表会 11月10日(土)
荒牧町公民館 来場をお待ちしています

まちかど探検 《no.48》

荒牧村の「小字」について

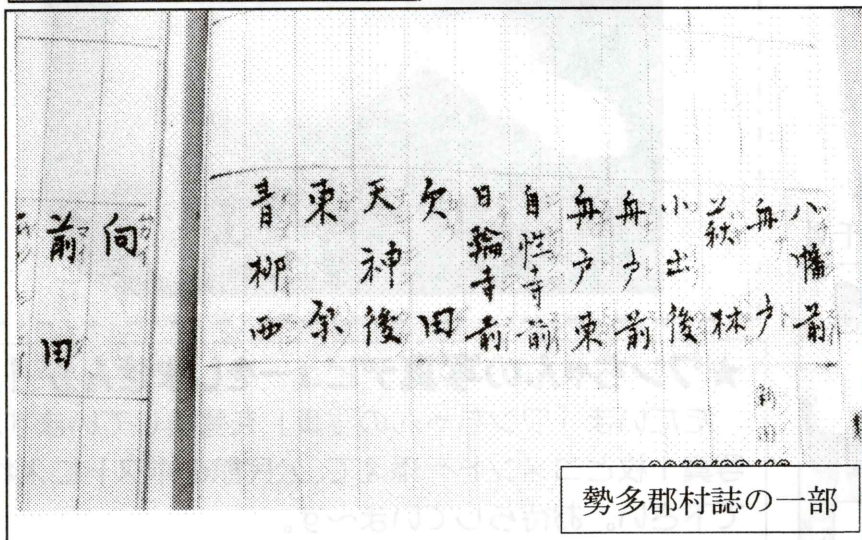
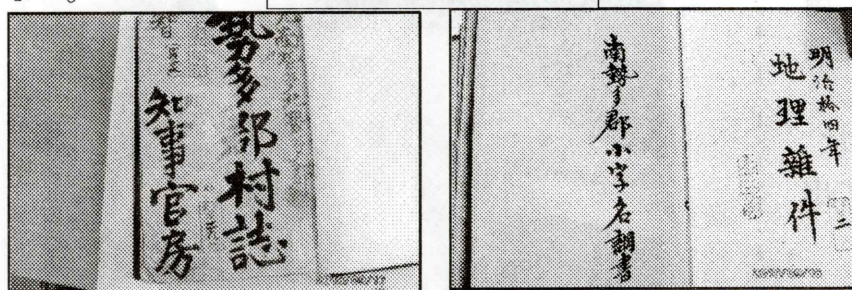
イーストプレス社から刊行された「消えた市町村名の謎」という書物に「平成29年現在で、我が国には1718の市町村が存在する。明治の前半に、ほぼ現在の形になってから殆ど変化がない都道府県と違って、市町村の内70000ほどあった江戸時代の『ムラ』を1889(明治22)年の市町村制により15000ほどに整理した。その後明治・昭和・平成の合併の結果現在の数になった……」とある。

この流れの中で、特に統一国家を目指した明治政府は統一の基礎資料を得る必要に迫られ、全国の実態調査をはじめた。その一つが「府県史料」の編纂であり、明治維新から明治7年までの全国の各府県の沿革調査が主眼であった。明治8年6月には太政官達で「皇国地誌編輯例則」を各府県に通達したのもこの政策の表れである。

本県においても同年7月に「上野国郡村誌」の編輯掛が設置され、明治10年に「上野国勢多郡荒牧村」の部も編纂され、この中に30の「小字」が記されている。

この小字の位置についてはおよその記述はあるが、現在使われているどの地区に当てはまるものかの記録は見当たらない。

県立文書館の資料



勢多郡村誌の一部

そこでこの30の小字が現在のどの5地区のどこに相当するのか町内の数人の先輩方に尋ねてみたが、同じ答えは戴けなかったため、お聞きした大要をまとめて次のような配置とした。しかし、あくまでもこれが正しいものとは言い切れない。

皆様方から、この分布について指摘をいただければ幸いである。

I 団地地区

- ①台所南 ②台所 ③台所東 ④台所北 ⑤黒岩

II 中荒牧地区

- ⑥笠松 ⑦堰下 ⑧瓜畑 ⑨西窪 ⑩萩林
⑪萩原北 ⑫源斉

III 下宿地区

- ⑬下宿 ⑭中反保 ⑮宿前

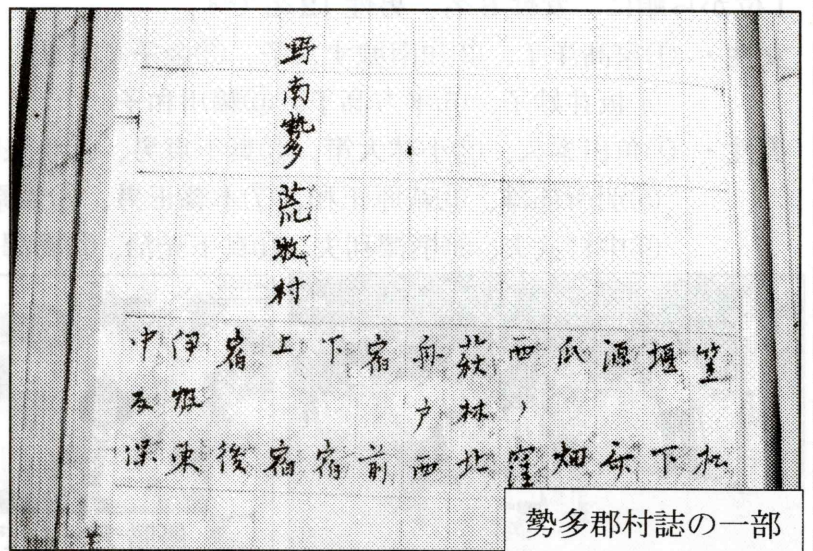
IV 上宿地区

- ⑯上宿 ⑰宿後(シクウラ) ⑱伊勢東
⑲八幡前(ハチマンマイ)

V 新田東地区

- ⑳船戸 ㉑小出後(コイデウラ) ㉒船戸
㉓船戸西 ㉔船戸東 ㉕自性寺前 ㉖日輪寺前
㉗欠田(カケタ) ㉘天神後(テンジンウラ)
㉙東原 ㉚青柳西

これらの小字の中には、上宿や下宿のように今でも通用している字もあり、台所・自性寺前のように時折耳にするが今ではあまり耳にしないものが多い。しかし前橋法務局に問い合わせると、現在でも正規の土地登記にはこれらの小字が用いられているとの事である。そして最近はこの「小字」に対する関心が高まりを見せているようである。(赤松)



勢多郡村誌の一部

